

平成 29 年 5 月 31 日

平成 29 年度上期の消費動向調査について

株式会社 鹿 児 島 銀 行
株式会社 九 州 経 済 研 究 所

[調査の概要]	
調査目的	年 2 回(4 月、10 月)、県民の暮らし向きや収入、支出動向を調査し、消費の現状を把握するとともに、今後の消費がどのように変化していくか見通しを示し、卸・小売事業者などの事業活動に利用してもらうことを目的とする。また今回は、日常の買い物における決済手段やポイントサービスの利用状況と今年の夏休みの過ごし方についての質問を設けた。
調査時期	平成 29 年 4 月下旬
調査対象	鹿児島銀行の県内本支店窓口来店者
調査方法	回答者本人が記入(無記名式)
回答数	有効回答数 726 人

用 語 D. I. =「良い(良くなる)」-「悪い(悪くなる)」、「増えた(増やす)」-「減った(減らす)」、いずれも回答割合

【調査結果のポイント】

1. 暮らし向きや消費について

- ・現在の暮らし向きについては「普通」が 71.3%と最も多く、次に「良い」16.0%（「良い」と「どちらかというが良い」の合計）、「悪い」12.7%（「悪い」と「どちらかというが悪い」の合計）の順となった。その結果 D.I.は 3.3 となり、前回調査(28 年 10 月)の▲4.1 から 7.4 へ改善し、26 年 4 月の消費増税以降初めてプラス圏に浮上した。
- ・今後の暮らし向きについて、D.I.は▲18.0と前回調査(▲26.7)から改善したものの、依然としてマイナス圏内で推移しており、現在の暮らし向きよりも見方は厳しい。
- ・商品・サービスの価格 D.I.は 47.3 と前回調査(46.1)よりわずかに上昇したが、26 年 10 月調査以降緩やかな下落傾向が続いている。D.I.は依然として高水準であるものの、物価上昇のペースは鈍化傾向といえる。

2. 日常の買い物における決済手段やポイントサービスの利用について

- ・日常の買い物における決済手段について、百貨店やスーパー、コンビニ、飲食店等、実店舗においては「現金」(94.8%)、インターネットショッピングや通販等においては、「クレジットカード」(77.0%)が最も多かった。また、ポイントカードやマイレージの利用状況については、96.1%が利用している結果となった。

3. 今年の夏休みの過ごし方について

- ・今年の夏休みの過ごし方について、「自宅で過ごす」「帰省・墓参り」「イベント(花火、祭りなど)」が上位に挙げられた。旅行は「国内宿泊」(18.3%)、「国内日帰り」(5.7%)、「海外旅行」(2.8%)となった。支出予定額は前年夏と比べて「変わらない」が 61.2%で最多となり、次いで「増える」(27.9%)、「減る」(10.9%)の順となった。

回答者属性

【性別】 男性 34.2% 女性 57.6% 不明 8.3%

【年齢別】 10代 1.1% 20代 20.4% 30代 22.9% 40代 22.5%
50代 18.2% 60代 11.4% 70代以上 3.6%

【職業別】 会社員 61.0% 商工業自営 5.4% 公務員 5.4%
団体職員 3.7% その他自営 1.9% その他(主婦・年金生活者等) 21.6%
不明 1.0%

1. 暮らし向きや消費について

(1) 現在の暮らし向き

現在の暮らし向きについては「普通」が71.3%と最も多く、次に「良い」16.0%（「良い」と「どちらかというが良い」の合計）、「悪い」12.7%（「悪い」と「どちらかというが悪い」の合計）の順となった（図表1）。その結果D.I.は3.3となり、前回調査（28年10月）の▲4.1から7.4^{ポイント}改善し、26年4月の消費増税以降初めてプラス圏に浮上した。今春、小売業では食料品や日用品などの値下げが相次ぐとともに、所得環境の改善が進み、現在の暮らし向きに対する見方が回復したと思われる。

D.I.を年代別にみると、70代以上を除く全ての年代でプラスとなっている（図表2）。また、20代や40代以上の幅広い年代で前回調査から改善がみられ、特に50代以上で大幅な改善がみられた。

(2) 今後の暮らし向き

今後の暮らし向きについては「変わらない」が60.2%と最も多く、次いで「悪くなる」28.9%（「悪くなる」と「やや悪くなる」の合計）、「良くなる」10.9%（「良くなる」と「やや良くなる」の合計）の順となった（図表3）。D.I.は▲18.0となり、前回調査の▲26.7から8.7^{ポイント}改善したものの、依然としてマイナス圏内で推移しており、現在の暮らし向きよりも見方は厳しい。D.I.を年代別にみると、20代以降の全ての年代でマイナスとなった中で、前回調査より40～50代、70代以上で大きく改善しているほか、20代、60代でもやや改善した（図表4）。一方、30代ではやや悪化、10代においては大きく悪化しており、先行きに対する不安が強いことがうかがえる。

また、不安要素として、「年金問題」が60.6%と最も多く、以下、「収入面」（40.5%）、「医療・介護費の負担増」（39.1%）の順となっている（図表5）。年代別にみると、10代は「物価上昇」、20～60代は「年金問題」、70代以上では「医療・介護費の負担増」が最多となっている。

(3) 収入

半年前と比較した収入は「変わらない」が73.2%と最も多く、次いで「増えた」（14.9%）、「減った」（11.9%）となった（図表6）。D.I.は3.0と前回調査から7.8^{ポイント}改善した。

D.I.を年代別にみると、20代以上で前回調査より改善した（図表7）。

また、今後の収入の増減については「変わらない」が58.6%と最も多く、次いで「減る」（26.3%）、「増える」（15.2%）となり、D.I.は▲11.1だった（図表8）。

年代別にみると、40代以上ではマイナスになり、特に50代以上になるとマイナス幅も拡大して

いる（図表 9）。中高年層で先行きの収入に対する不安が大きいことがうかがえる。

（4）支出

半年前と比較した支出は「変わらない」が 52.1%と最も多く、「増えた」(40.4%)、「減った」(7.5%)が続いた（図表 10）。D.I.は 32.9 と前回調査（37.6）から低下した。食料品など身近な商品の値上がりの影響がやや落ち着いてきたとみられる。

年代別にみると、20代と50代以上でD.I.が低下した（図表 11）。

（5）商品・サービスの価格

半年前と比較した商品やサービスの価格は「変わらない」が 50.5%と最も多くなった（図表 12）。D.I.は 47.3 と前回調査（46.1）から 1.2 割上昇したものの、26年10月以降緩やかな下落傾向が続いている。円高傾向や原油価格の下落などもあり、物価上昇ペースの鈍化を反映しているとみられる。

品目別の D.I.をみると、「教育費」「旅行・宿泊費」を除いた全ての品目で前回調査から下落した（図表 13）。特に、「食料品」の下落幅が大きかった。

（6）今後の支出

今後半年間の支出動向については、「増やす」とした割合が高かった品目として「教育費」(21.8%)、「自動車関係費」(17.7%)、「家電製品」(16.1%)などが上位となった（図表 14）。一方、「減らす」とした割合が高かった品目は「一般雑貨・アクセサリなど」(29.6%)、「娯楽費」(28.9%)、「交際費」(26.5%)などが挙げられている。

支出 D.I.（品目別・年代別）をみると、「教育費」「自動車関係費」「住宅関係」などでは支出増加が見込まれる（図表 15）。一方、「一般雑貨・アクセサリなど」「娯楽費」「その他身の回り品」など 10 品目はほとんどの年代で D.I.がマイナスとなった。

物価上昇ペースは鈍っているとはいえ、将来に対する不安から暮らし向きが改善しない中で、真に必要な支出を見極め、不要不急の支出を避けている様子が見える。

2. 日常の買い物における決済手段やポイントサービスの利用について

(1) 日常の買い物における決済手段

日常の買い物における決済手段について、百貨店やスーパー、コンビニ、飲食店等、実店舗においては「現金」が94.8%と突出している（図表16）。次いで、「クレジットカード」（44.9%）、「電子マネー」（12.5%）と続いた。一方、インターネットショッピングや通販等においては、「クレジットカード」が77.0%と最も多く、次いで「現金」（27.8%）、「金融機関窓口やATMからの振込」（12.9%）が続いた。

(2) ポイントカードやマイレージの利用状況

ポイントカードやマイレージの利用状況は、「たまに利用している（月1回未満）」が42.8%と最も多く、次いで「ときどき利用している（月2～3回程度）」（30.3%）、「よく利用している（週1回以上）」（23.0%）となり、合わせて96.1%がポイントカードやマイレージを利用している結果となった（図表17）。年代別の特徴としては、年代が上がるにつれ、「利用していない」割合が高まる傾向がみられた。ポイントカードの保有枚数は、「5枚以下」が62.2%と最も多く、次いで「6～10枚未満」（27.5%）、「10～15枚未満」（7.1%）と続いた（図表18）。ポイントサービスを利用する際の基準としては、「よく商品・サービスを購入（利用）する」が79.7%と大部分を占め、次いで「複数の企業で同じポイントが貯められる」（27.7%）、「ポイントと交換できる商品・サービスが魅力的」（19.3%）などの順となった（図表19）。

3. 今年の夏休みの過ごし方について

今年の夏休みの過ごし方について、「自宅で過ごす」が40.3%と最も多く、次いで「帰省・墓参り」（32.4%）、「イベント（花火、祭りなど）」（23.6%）などが続いた（図表20）。支出予定額は前年夏と比べて「変わらない」が61.2%で最多となり、次いで「増える」（27.9%）、「減る」（10.9%）の順となった（図表21）。年代別にみると、70代以上や、賃上げの動きを受けて20～40代で「増える」割合が全体より高い傾向がみられた。

本県における今年の夏休みの動向として、旅館・ホテルや日帰りの観光施設においては前年に実施された「九州ふっこう割」の反動減が懸念されるものの、雇用環境の改善や所得増加が進む中で、今春に大型の新規商業施設も開業しており、消費の盛り上がり期待される。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（TEL 099-225-7491）

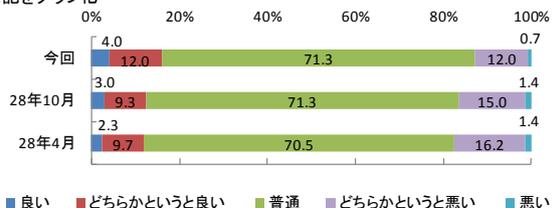
【暮らし向きや消費について】

図表1 現在の暮らし向き

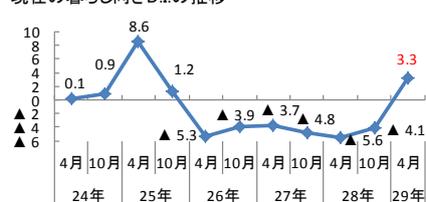
(%)

項目	28年4月	28年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
良い	2.3	3.0	4.0	1.0
どちらかというが良い	9.7	9.3	12.0	2.7
普通	70.5	71.3	71.3	0.0
どちらかというが悪い	16.2	15.0	12.0	▲3.0
悪い	1.4	1.4	0.7	▲0.7
D. I.	▲5.6	▲4.1	3.3	7.4

上記をグラフ化



現在の暮らし向きD.I.の推移



図表2 現在の暮らし向きD. I. (年代別)

(D. I.)

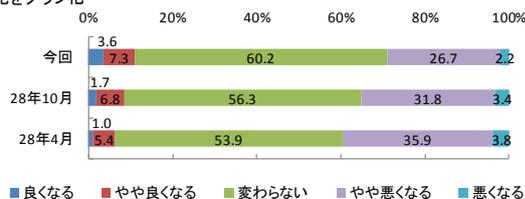
年代	28年4月	28年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	▲5.6	▲4.1	3.3	7.4
10代	0.0	75.0	12.5	▲62.5
20代	5.6	7.4	8.8	1.4
30代	▲1.4	5.2	1.8	▲3.4
40代	▲12.2	▲7.2	0.6	7.8
50代	▲3.5	▲13.3	1.5	14.8
60代	▲11.6	▲13.1	7.2	20.3
70代以上	▲20.7	▲23.3	7.8	15.5

図表3 今後の暮らし向き

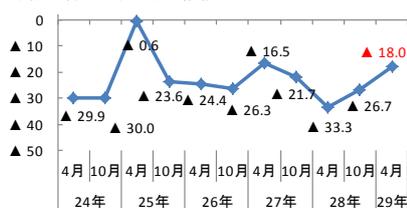
(%)

項目	28年4月	28年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
良くなる	1.0	1.7	3.6	1.9
やや良くなる	5.4	6.8	7.3	0.5
変わらない	53.9	56.3	60.2	3.9
やや悪くなる	35.9	31.8	26.7	▲5.1
悪くなる	3.8	3.4	2.2	▲1.2
D. I.	▲33.3	▲26.7	18.0	8.7

上記をグラフ化



今後の暮らし向きD.I.の推移

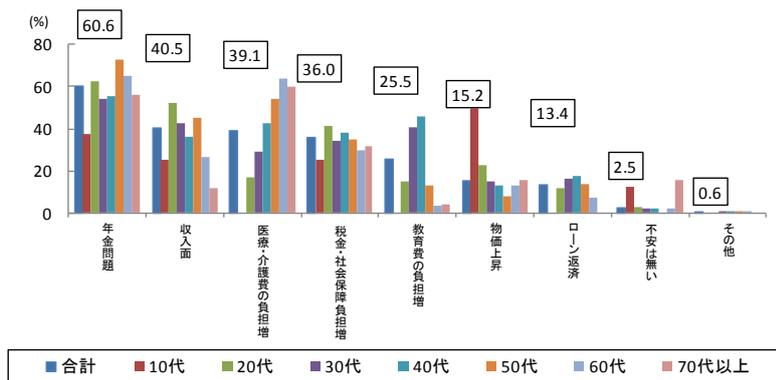


図表4 今後の暮らし向きD.I.(年代別)

(D.I.)

年代	28年4月	28年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	▲33.3	▲26.7	18.0	8.7
10代	0.0	25.0	12.5	▲12.5
20代	▲17.6	▲4.9	0.7	4.2
30代	▲25.2	▲11.7	15.1	▲3.4
40代	▲40.1	▲35.0	22.2	12.8
50代	▲46.9	▲47.2	26.4	20.8
60代	▲40.4	▲35.9	33.8	2.1
70代以上	▲20.6	▲40.0	23.0	17.0

図表5 将来の不安要素

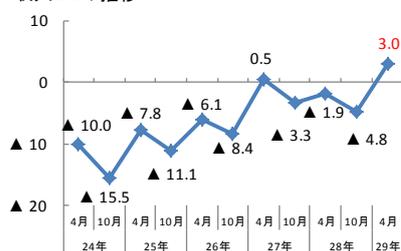


注) 複数回答、数値は全体

図表6 収入(半年前比)

項目	28年4月	28年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
増えた	12.0	11.4	14.9	3.5
変わらない	74.1	72.4	73.2	0.8
減った	13.9	16.2	11.9	▲4.3
D. I.	▲1.9	▲4.8	3.0	7.8

収入D.I.の推移



図表7 収入D. I. (年代別)

年代	28年4月	28年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	▲1.9	▲4.8	3.0	7.8
10代	33.3	75.0	12.5	▲62.5
20代	24.0	12.5	25.3	12.8
30代	8.4	5.8	10.3	4.5
40代	▲1.2	▲3.0	▲1.2	1.8
50代	▲13.3	▲16.4	▲7.6	8.8
60代	▲23.7	▲22.8	▲19.3	3.5
70代以上	▲44.8	▲36.7	▲19.3	17.4

図表8 今後の収入 (%)

項目	今回
増える	15.2
変わらない	58.6
減る	26.3
D. I.	▲11.1

図表9 今後の収入D. I. (年代別) (D. I.)

年代	今回
全体	▲11.1
10代	▲12.5
20代	23.3
30代	5.4
40代	▲13.2
50代	▲36.6
60代	▲44.6
70代以上	▲61.5

図表10 支出(半年前比)

項目	28年4月	28年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
増えた	44.7	44.3	40.4	▲3.9
変わらない	48.2	48.9	52.1	3.2
減った	7.0	6.7	7.5	0.8
D. I.	37.7	37.6	32.9	▲4.7

支出D.I.の推移



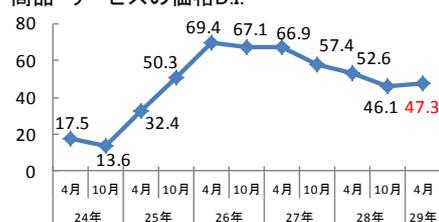
図表11 支出D. I. (年代別)

年代	28年4月	28年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
全体	37.7	37.6	32.9	▲4.7
10代	66.7	0.0	57.1	57.1
20代	46.4	50.0	29.9	▲20.1
30代	50.7	40.6	41.2	0.6
40代	51.2	40.7	45.6	4.9
50代	23.9	28.2	21.2	▲7.0
60代	10.8	30.5	20.5	▲10.0
70代以上	6.9	20.7	11.5	▲9.2

図表12 商品・サービスの価格(半年前比) (%)

項目	28年4月	28年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
上がった	55.2	47.8	48.4	0.6
変わらない	42.2	50.5	50.5	0.0
下がった	2.6	1.7	1.1	▲ 0.6
D. I.	52.6	46.1	47.3	1.2

商品・サービスの価格D.I.



図表13 商品・サービスの価格D. I. (品目別)

項目	28年4月	28年10月 (A)	今回 (B)	増減 (B)-(A)
食料品	72.6	72.7	60.0	▲ 12.7
自動車・自動車関連費(車検など)	36.1	35.7	35.0	▲ 0.7
教育費(授業料・塾など)	34.2	28.1	28.7	0.6
通信関係費(携帯電話など)	33.5	30.1	26.6	▲ 3.5
旅行・宿泊費	26.0	18.7	19.1	0.4
衣服・履物費(洋服・靴など)	22.2	20.3	16.6	▲ 3.7
理美容費(化粧品・散髪など)	17.6	17.1	14.8	▲ 2.3
家電製品(エアコン・TVなど)	15.1	13.5	11.5	▲ 2.0
家具(たんす・ソファなど)	10.8	10.3	6.2	▲ 4.1

図表14 今後半年間の支出(品目別)

品目	増やす			減らす			D. I.		
	増やす	変わらない	減らす	28年4月	28年10月	今回			
教育費(授業料・塾など)	21.8	68.2	10.0	15.9	14.2	11.8			
自動車関係費(車検など)	17.7	74.8	7.5	8.8	6.6	10.2			
家電製品(エアコン・TVなど)	16.1	74.6	9.3	1.8	2.0	6.8			
習い事の月謝など	16.0	69.5	14.5	2.5	1.0	1.5			
住宅関係(リフォームなど)	15.0	78.1	7.0	10.4	9.6	8.0			
食費	14.4	67.8	17.8	▲ 11.4	▲ 11.4	▲ 3.4			
書籍等購入費(書籍・CDなど)	14.3	70.8	14.8	▲ 8.3	▲ 7.2	▲ 0.5			
旅行・宿泊費	14.2	65.2	20.5	▲ 19.0	▲ 11.4	▲ 6.3			
保健・医療サービス	14.0	78.8	7.2	6.1	9.5	6.8			
自動車	12.7	79.0	8.3	5.3	2.3	4.4			
交際費(贈答品・飲み会など)	12.5	61.0	26.5	▲ 19.3	▲ 13.2	▲ 14.0			
衣服・履物費(洋服・靴など)	12.4	67.6	20.0	▲ 18.7	▲ 15.2	▲ 7.6			
住宅・マンション	10.9	83.5	5.5	1.1	4.0	5.4			
家具(たんす・ソファなど)	10.9	78.7	10.4	▲ 5.9	▲ 4.3	0.5			
金融商品(投資信託・保険など)	10.2	79.6	10.2	▲ 3.0	0.0	0.0			
通信関係費(携帯電話など)	9.8	67.7	22.5	▲ 17.6	▲ 11.6	▲ 12.7			
娯楽費	8.0	63.1	28.9	▲ 29.7	▲ 23.0	▲ 20.9			
理美容費(化粧品・散髪など)	6.3	76.1	17.6	▲ 13.1	▲ 11.1	▲ 11.3			
一般雑貨・アクセサリなど	4.1	66.3	29.6	▲ 34.9	▲ 26.3	▲ 25.5			
その他身の回り品	3.0	77.3	19.7	▲ 23.5	▲ 18.2	▲ 16.7			

図表15 支出D. I. (品目別・年代別)

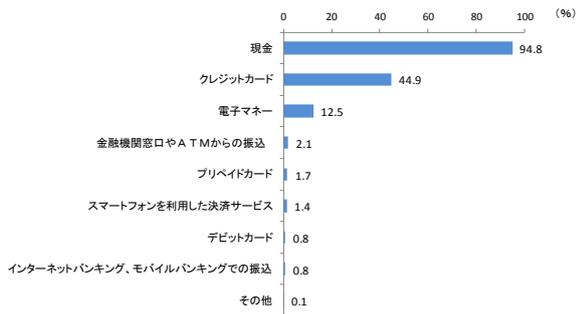
	教育費(授業料・塾など)	自動車関係費(車検など)	住宅関係(リフォームなど)	家電製品(エアコン・TVなど)	保健・医療サービス	住宅・マンション	自動車	習い事の月謝など	家具(たんす・ソファなど)	金融商品(投資信託・保険など)
全体	11.8	10.2	8.0	6.8	6.8	5.4	4.4	1.5	0.5	0.0
10代	16.7	▲ 16.7	14.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
20代	3.3	19.4	1.7	15.1	7.7	10.0	11.7	▲ 4.0	14.9	15.8
30代	19.0	7.5	7.1	8.1	5.4	16.7	2.1	17.7	6.9	2.1
40代	37.2	14.5	8.2	2.9	7.4	1.4	6.6	19.4	▲ 2.3	▲ 2.9
50代	▲ 8.9	11.6	16.2	1.9	3.6	▲ 1.9	5.6	▲ 24.7	▲ 12.0	▲ 12.2
60代	▲ 18.2	▲ 6.3	8.3	3.3	15.1	▲ 10.7	▲ 6.4	▲ 22.2	▲ 15.2	▲ 6.4
70代以上	0.0	▲ 5.5	5.9	5.5	0.0	6.3	▲ 18.8	▲ 12.5	▲ 11.8	▲ 11.1

	書籍等購入費(書籍・CDなど)	食費	旅行・宿泊費	衣服・履物費(洋服・靴など)	理美容費(化粧品・散髪など)	通信関係費(携帯電話など)	交際費(贈答品・飲み会など)	その他身の回り品	娯楽費	一般雑貨・アクセサリなど
全体	▲ 0.5	▲ 3.4	▲ 6.3	▲ 7.6	▲ 11.3	▲ 12.7	▲ 14.0	▲ 16.7	▲ 20.9	▲ 25.5
10代	33.3	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7
20代	11.8	▲ 5.3	11.9	13.0	7.8	▲ 0.7	10.7	▲ 5.2	7.7	▲ 5.4
30代	▲ 4.1	2.0	▲ 6.7	▲ 6.0	▲ 17.6	▲ 11.4	▲ 18.7	▲ 12.7	▲ 21.5	▲ 26.6
40代	2.2	▲ 0.7	▲ 15.0	▲ 7.8	▲ 15.0	▲ 11.7	▲ 21.5	▲ 19.2	▲ 28.7	▲ 29.2
50代	▲ 11.0	▲ 7.2	▲ 18.9	▲ 20.4	▲ 18.9	▲ 25.7	▲ 21.6	▲ 25.8	▲ 41.4	▲ 36.1
60代	▲ 9.7	▲ 9.6	▲ 1.6	▲ 27.2	▲ 15.2	▲ 18.8	▲ 21.8	▲ 34.1	▲ 30.1	▲ 40.6
70代以上	5.9	▲ 13.6	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 21.0	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 16.7	▲ 27.8

【日常の買い物における決済手段やポイントサービスの利用について】

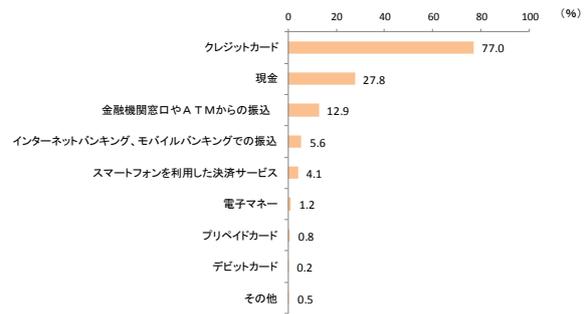
図表16 日常の買い物における決済手段

①百貨店、スーパー、コンビニ、飲食店等



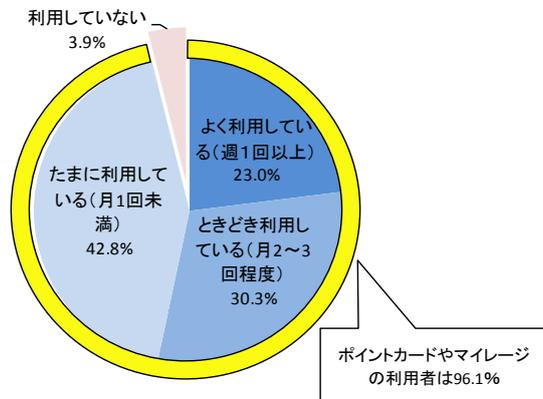
注) 複数回答

②インターネットショッピング、通販等

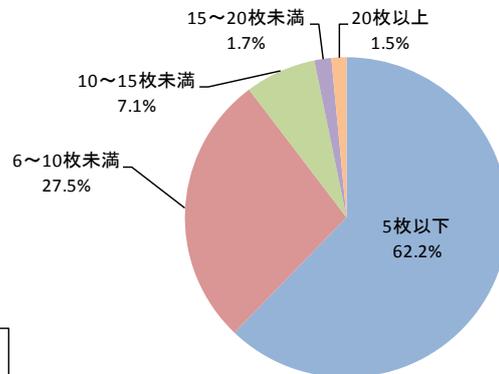


注) 複数回答

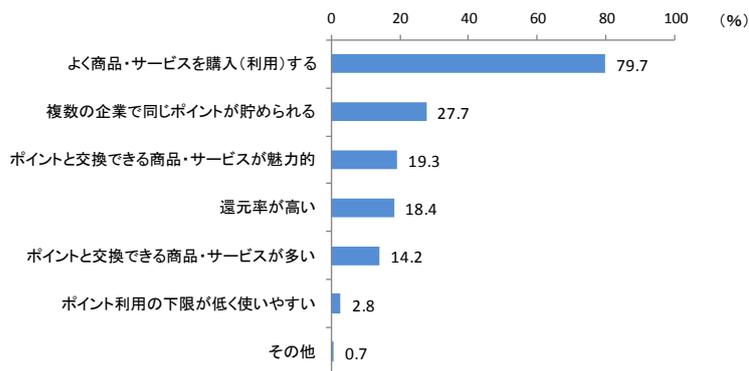
図表17 ポイントカードやマイレージの利用状況



図表18 ポイントカードの保有枚数



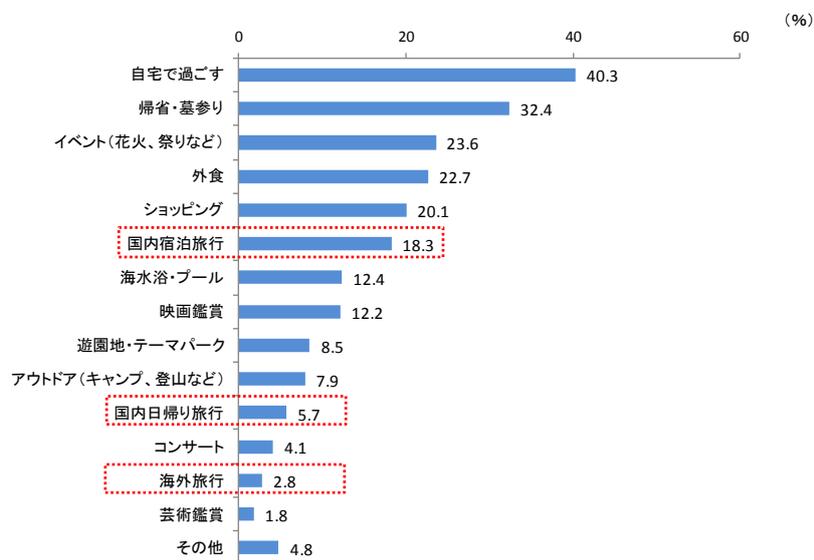
図表19 ポイントサービスを利用する際の基準



注)複数回答

【今年の夏休みの過ごし方について】

図表20 夏休みの過ごし方



注)複数回答

図表21 前年夏と比較した支出予定額

